

2020年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

2020年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

1. 狭山丘陵において自然環境及び歴史的景観の保存及び活用のための土地又は文化財を取得する事業

基金の主たる事業であるナショナル・トラスト活動を推進するために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

(1) トトロの森基金への寄付

2020年度のトトロの森基金への寄付は、550件、9,431,430円が寄せられ、基金の累計は総額961,972,303円に達した。

(2) トラスト地の取得

新たに次の3か所のトラスト地を取得した。

- ・トトロの森 53号地 2641.52㎡ 11,130,000円 2020年7月7日取得
- ・トトロの森 54号地 3691.48㎡ 16,000,000円 2020年7月7日取得
- ・トトロの森 55号地 191㎡ 無償寄附 2020年12月1日取得

(3) 新たなトラスト地の取得を目指した活動

地権者等への訪問及び連絡等を行った。以下、例示。

- ・東村山市多摩湖町一丁目7-2ほかの地権者等と打合せ(6月19日ほか)
- ・所沢市三ヶ島一丁目145-1の地権者と打合せ(12月16日)
- ・所沢市北野二丁目22-32の地権者と打合せ(10月9日ほか)

(4) 土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会を書面により1回開催した。

- ・2020年10月23日 所沢市北野二丁目の無償寄附案件を検討

2. 取得した土地又は文化財を保存するとともに、その保存に支障のない範囲で一般の活用に供する事業及びその保存・活用のために必要な復元を行う事業

2-1 里山の管理の実践(里山部会事業)

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

(1) トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

4月7日～5月25日までの緊急事態宣言発令中は原則活動を中止とし、その後2度目の緊急事態宣言が発令された1月13日～3月21日までの活動も中止とした。

葛籠入の森(20号地)、芋窪の森(47号地)において、毎月第一日曜日を主とした月1～2回程度の定例活動日に「トトロの森で何かし隊」(2021年3月末時点148名)のメンバーによる定期的な管理作業を行った。うち、芋窪の森(47号地)は協力団体と合同で管理作業を行った。2号地、チカタの森(3・15・48号地)、5号地、北野の谷戸(7・11・16号地)、12号地、砂川の森(14・27・42号地)、17号地、葛籠入の森(21号地)、24号地、30号地、37号地、46号地、芋窪の森は協力団体(2021年3月末時点16団体)による管理作業が行われた。活動回数は合計82回、参加延べ人数は672人となった。

その他、必要に応じて、チェーンソー等の動力機械を使用するトラスト地管理作業チームによる作業、業務委託による危険木・越境木の除去等を行った。

① 「トトロの森で何かし隊」の活動

a. トラスト地の管理作業を以下の日程で行い、活動回数 3 回、参加延べ人数 34 人、平均参加人数は、休日定例作業 10.5 人、平日定例作業 13 人となった。

※コロナ対策として人数制限・居住地制限を設けた為、例年と条件が異なる。

日	場所	内容	人数	全数
4月5日	20号地	笹刈り ※コロナ中止	0	0
5月2日	4号地	タケノコ掘り ※コロナ中止	0	0
6月7日	猪入の森	草刈り ※コロナ中止	0	0
7月5日	17号地	草刈り、竹伐り ※コロナ中止	0	0
9月6日	4号地	草刈り ※雨天中止	0	0
9月26日	5号地	草刈り ※雨天中止	0	0
10月4日	47号地	笹刈り、ゴミ拾い	8	8
11月1日	47号地	笹刈り、ゴミ拾い	13	13
11月19日	20号地	草刈り	13	13
12月13日	29・38号地	常緑樹の伐採 ※コロナ中止	0	0
1月11日	猪入りの森	常緑樹の伐採 ※コロナ中止	0	0
1月23日	5号地	萌芽枝の選別作業 ※コロナ中止	0	0
2月7日	—	※コロナ中止	0	0
2月18日	47号地	笹刈り、ゴミ拾い ※コロナ中止	0	0
3月13日	5号地	萌芽枝の選別作業 ※コロナ中止	0	0

※全数は合同作業時の協力団体等の参加人数を含めた人数

b. ボランティア登録説明会を10月18日、11月15日の計2回開催した。(計14人)

10月は人数制限(10名)・居住地制限、11月は人数制限(10名)を設け実施。

c. 5月3日春の交流会はコロナ対策のため中止となった。

d. 見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。

e. トラスト地の案内板の作製および修繕作業を計3回おこなった。

② 協力団体によるトラスト地の管理作業

トラスト地の管理作業を以下の通り行い、活動回数72回、参加延べ人数606人となった。

a. チカタ集いの会(3号地、15号地、48号地)5月30日ほか計5回

b. リコーボランティアグループ(5号地、24号地)10月24日ほか計2回

c. 北野の谷戸の芽会(7号地、11号地、16号地)詳細は2-2(1)参照

d. ゆめとこファーム(24号地)11月8日ほか計3回

e. 北中ネイチャークラブ(12号地)5月21日ほか計8回

f. 地域の自然を考える会(12号地)9月22日ほか計3回

g. 26緑の会(12号地)10月27日ほか計2回

h. ふらっと12(12号地)7月9日ほか計6回

i. 砂川流域ネットワーク(14号地、27号地、42号地)5月23日ほか計4回

j. 17号佐々木隊(17号地)12月6日計1回

- k. 耕し隊 (2号地) 8月2日ほか計10回
- l. 30号地人間隊 (30号地、46号地) 6月30日ほか計5回
- m. 37号地ネコバス隊 (37号地、45号地) 7月13日ほか計4回
- n. 山田ファーム(20号地、21号地)7月7日ほか計9回
- o. とんりの緑地を守り隊(47号地)7月5日ほか計3回
- ③ トラスト地管理作業チームによるトラスト地の管理作業
チェーンソー、刈払機等を使用した管理作業を以下の場所で、毎月1~12回、計86回行った。
雑魚入(45号地)、チカタの森(3・15・48号地)、4号地、5号地、猪入の森(6・23・25・35・36号地)、
8号地、9号地、10号地、13号地、17号地、18号地、葛籠入の森(21・26・41号地)、狭山湖北の森
(22・29・38・39・50・53号地)、24号地、30号地、34号地、37号地、芋窪の森(40・47号地)、泉の森
(44・54・55号地)、46号地、49号地
- ④ 案内板の設置等
 - a. 以下の場所の案内板の作成および新設作業をおこなった。
28号地、32号地、52号地
 - b. 以下の場所の案内板の修繕および再設置作業をおこなった。
7号地、13号地、14号地、18号地
- ⑤ 地元ボランティア(協力団体以外)の協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行い、
活動回数は3回、参加延べ人数21人となった。

日	場所	内容	人数
1月5日	13・49号地	GFN・落ち葉溜め作成、常緑樹の伐採	5
1月9日	13号地	GFN・落ち葉掃き、落ち葉溜め作成	9
1月9日	14・27・42号地	GFN・下草刈り、落ち葉掃き	7

※企業ボランティアによる活動は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし。

- ⑥ 業者委託によるトラスト地の管理作業
 - a. 危険木・越境木の除去等のため、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
8月25日~27日	秋津(17号地)	線路に倒れる恐れのある危険木の伐採
12月26日	北野(32号地)	ドッグラン脇に落下する恐れのある支障木の伐採
3月22日~24日	猪入(6・35号地)	ゴルフ場、資材置き場に倒木の恐れがあるナラ枯れ木の伐採
 - b. 案内板の新設作業等を、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
11月6日	11号地	屋根の交換
1月7日	17号地	大トトロの再設置
2月19日	狭山湖北 (22・29・38・50・53号地)	案内板の新設

- ⑦ トラスト地管理作業チームによるトラスト地以外の里山管理活動
良好な里山景観の保全を目的に、トラスト地以外の山林や農地の管理作業を計8回行った。

日	場所	内容
6月16日	入間市宮寺の農地	草刈り
6月23日	入間市宮寺の農地	草刈り
7月3日	所沢市堀之内の農地	草刈り
11月27日	トトロの森葛籠入湿地水源地	アカマツ植樹用穴掘り

11月24日	所沢市堀之内の山林	落ち葉はき
12月1日	トトロの森葛籠入湿地水源地	アカマツ植樹用穴掘り
12月15日	トトロの森葛籠入湿地水源地 他	アカマツ植樹用苗の掘り出し、植樹の準備
12月16日	トトロの森葛籠入湿地水源地	アカマツ植樹 75本

(2) 講習会

① 救急講習会【中止】

10月18日、野外での怪我の事故に備えて、予防法、応急処置法などを学ぶ講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

② 里山管理技術講習会【中止】

11月22日、里山管理に必要な基本的な知識と道具の取り扱い方を学ぶ講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(3) 助成金の申請

所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金を申請
 森林ボランティア育成事業補助金を申請
 国土緑化推進機構「緑の募金公募事業」へ申請

(4) 里山部会会議の開催

里山部会会議を6回開催した。

2-2 北野の谷戸保全活動の推進（地域保全活動部会事業）

地域保全活動部会は、2010年度から始めた北野の谷戸保全活動を継続して実施した。復田した田んぼでの稲作、開墾した畑での畑作、トトロの森7号地、11号地、16号地の管理作業など、ボランティアグループ「北野の谷戸の芽会」のメンバーと地元の方々の協力を得て、北野の谷戸の里山環境保全作業に取り組んだ。去年は北野の谷戸稲作再開10周年記念集会を開催。普段一堂に会することない地元の方、ボランティア、市役所、トトロのふるさと基金が集まり、北野の谷戸について各々がどのようなことを行い、考えているかを座談会の形式で話しあった。なかなか聞けることのない地元の貴重な意見を聞き大変参考になり、相互理解を深めるのにとっても良い機会になった。

(1) 里山保全作業等の実施

- 4月26日（日）田んぼに肥料まき・田んぼの荒起こし・水苗代作り・六つ谷川沿いの草刈り・たけのこ掘り
- 5月31日（日）代掻き、畦直し、7号地竹切
- 6月7日（日）苗取り、田植え、下草刈り、里芋定植
- 7月5日（日）草刈り、田んぼの畦草取り、里芋草取り
- 7月19日（日）畑、茶のまわりの草刈り、田んぼ管理
- 8月8日（日）田んぼ、茶畑、畑、11号地尾根道沿いの草刈り
- 8月12日（日）田んぼ草刈り、16号地管理作業
- 8月22日（日）畑の草刈り
- 8月23日（日）16号地笹刈り、田んぼ周り、畑、茶畑、ゆずの木の草刈り
- 9月13日（日）田んぼ、畑草刈り
- 9月27日（日）稲架かけ作り
- 10月4日（日）稲刈り
- 11月1日（日）脱穀、粃摺り、稲藁撒き
- 11月8日（日）稲藁撒き、鋤きこみ

- 11月15日（金）里芋掘り、畑作業（雑木、雑草の除去、残渣置き場片付け、残渣物移動）
- 12月13日（日）落ち葉溜め作り、茶の選定、32号地残渣置き指定
- 2月14日（日）落ち葉掃き、田んぼ畦修理、水路落ち葉片付け、陸稲準備
- 3月14日（日）じゃがいも定植、田んぼ代掻き、畦直し、7号地竹伐採

(2) 関係機関との連携協議

上山口地域ふるさと創生をすすめる会に唐箕、籾摺り機の貸し出し
 所沢市みどり自然課とナラ枯れに対策について情報交換
 里山保全地域内のトラスト地にあるナラ枯れ木を市で伐採。

(3) 部会会議の開催

地域保全活動部会を3回開催した。

(4) その他

コロナウイルスの影響で、参加人数の制限をかけた活動の実施、または活動の中止。
 米の収量は60キロ

2-3 クロスケの家の活用と管理

「クロスケの家マスタープラン」のスケジュールに基づき、各部会・委員会等によって事業が進められた。また、教育機関や地域の団体等の学習の場としても活用された。

(1) クロスケの家基金

2020年度のクロスケの家基金への寄付は、182件、694,956円であった。

(2) 一般公開

団体見学者の月別内訳は下表の通りであった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	8
人数	0	0	0	0	0	0	11	80	0	0	0	0	91

※2020年2月25日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般公開を中止した。

10月・11月は何かし隊登録説明会の他、市民大学・いきふれイベント・三ヶ島小対応等

(3) 文化財保護関連

所沢市文化財保護課へ襖絵の鑑定を依頼し、天袋・押入襖絵について高橋南崖作と判明。

(4) 蔵の活用

協力団体活動紹介パネルを掲示

(5) 整備及び管理作業

①敷地内樹木管理

クロスケの家の敷地内樹木管理・越境木の伐採

②駐車場裏手竹柵の修繕

3. 狭山丘陵の価値を広く伝えるための普及啓発事業及び環境教育事業

3-1 狭山丘陵の保全のための普及啓発活動

狭山丘陵の自然やそこに息づく文化などに関する情報を発信し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に係る取材などに対して積極的に対応し、基金の活動への理解を促した。また、会員の増加に努めた。

(1) 会員の状況

2020年度末の登録会員は1,224人で、内訳は正会員903人、高校生0人、家族会員172人、賛

助会員 29 人、こども会員 108 人、法人会員 12 社であった。前年度と比べ 24 人の減少であった。

(2) 会報発行等の広報活動の充実

支援者向け機関紙『トトロの森から』を会員・寄付者に向けて発行した。

第 104 号発行 6 月 30 日

第 105 号発行 9 月 30 日

第 106 号発行 1 月 30 日

第 107 号発行 3 月 31 日

(3) 狭山丘陵における体験活動の実施（詳細は、2-1 (1) ④参照）

例年、企業の協力を得てトラスト地の維持管理作業に取り組んでいるが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。地元団体の協力による活動を 1 月に実施。

(4) ホームページの更新と運営

公式ホームページでは、イベントやボランティア情報などを定期的に更新し、閲覧状況の分析を行った。また、公式フェイスブックを運用し、若年層への PR に努めた。

(5) 一般への広報活動

- ・トトロの森とクロスケの家ガイドツアー ※コロナ対策のため中止
- ※コロナ対策の検討会議を 7 月 25 日に開催
- ・クロスケの家イベント（どんぐりトトロづくり） ※コロナ対策のため中止
- ・トトロの森の散策会 ※コロナ対策のため中止
- ・イオン入間店でのイエローシートキャンペーンへの参加 ※店頭活動は中止

(6) 狭山丘陵フェアへの参加協力

狭山丘陵フェア実行委員会への参加 1 回（7 月 16 日）

※狭山丘陵フェアは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3-2 里山の保全に関する環境教育の実施（環境教育部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。また、狭山丘陵の自然・歴史に関する資料集のまとめ作業を行った。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとした取り組みと、トトロの森及びクロスケの家をフィールドとした取り組みを行った。

(1) 狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業

2020 年度の指定管理業務事業報告書（別紙）

(2) 「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力

①クロスケの家において総合的な学習の時間等への協力を行った。

10 月 5 日 子ども地域ネットワーク所沢「まちづくり実行委員会」（所沢高校）・取材

11 月 16 日 三ヶ島小学校 2 年生・学区探検

②いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。

(3) 環境教育に関する講座・学習会

年中行事の再現を行った。

9 月 14 日 十五夜飾りと月見団子づくり

10 月 13 日 十三夜飾りと月見団子づくり

12 月 23 日 しめ縄飾りづくり

*1 月 17 日に予定していた小正月・繭玉飾りづくりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(4) 環境教育部会会議の開催

環境教育部会会議を3回開催した。

4. 狭山丘陵における自然環境等に関する調査及び情報収集事業

4-1 里山の自然環境に関する調査・研究（調査部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行い、生物多様性等に係る価値の把握に努めた。また、トラスト地の適切な管理方針策定のための提言を行った。

(1) 狭山丘陵の自然環境調査の実施

- ① トラスト地とその周辺の土壌・植生調査を9回行った。
- ② 三ヶ島湿地にてトウキョウウサンショウウオの卵嚢数調査を1回行った。
- ③ トラスト地で複数回ナラ枯れ状況調査を行った。

(2) 講座・勉強会

- ① カシノナガキクイムシによるナラ枯れ状況の勉強会を1回行った。
- ② 外来種クビアカツヤカミキリの対策フォーラムにオンラインで参加した。

(3) 調査部会会議の開催

調査部会会議を、3回開催した。

4-2 狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

(1) 関係自治体、企業等との協議

- ① 菩提樹池と周辺緑地に係る連絡会議に出席
(9月25日、12月8日)
- ② 所沢市みどりの審議会に委員として出席(7月15日)、その他書面による開催
- ③ 野山北・六道山公園管理運営協議会に出席(6月13日、9月12日書面)
- ④ 狭山丘陵広域連絡会に出席(10月28日オンライン)

(2) 葛籠入湿地及び水源地に対する取り組み

水源地でのアカマツ再生の取り組み

アカマツ苗の育成

地域の関係者と所沢高校の学生とアカマツの植樹(12月15日、12月16日)

(3) 早稲田大学オリンピック招致に伴う陸上競技場照明問題に対する取り組み

早稲田大学所沢校地陸上競技場照明施設環境影響評価業務における調査の協力

(協力回数：67回)

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての適切な運営のために、理事会、評議員会を開催した。また、執行部会議等を開催して的確で迅速な意思決定を行うとともに、財政等に係る課題の検討を進めた。

トトロのふるさと基金運動の四半世紀に及ぶ活動記録を集大成した刊行物(トトロのふるさと基金発足30周年記念誌)の取りまとめの準備を行った。また、トラスト地の拡大や基金をとりまく環境の変化に伴い生じている様々な課題に対処するための長期構想(2020～2030年)の検討を行った。ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体からの照会・相談等への対応を行ったほか、様々なメディアからの取材等への対応、丘陵案内やシンポジウムへの参加などを実施した。

その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行うとともに、各種助成金等の確保に取り組んだ。

(1) 理事会及び評議員会の開催

理事会：通常理事会 2回（6月28日、3月21日）

臨時理事会 3回（8月9日、11月8日、2月14日）

決議の省略 1回（7月17日）

評議員会：定時評議員会 1回（7月19日）

(2) 執行部会議の開催（7回）

7月2日、8月6日、9月9日、9月24日、12月1日、2月21日、3月7日

(3) 常任理事会の開催（9回）

7月26日、8月30日、9月27日、10月25日、11月29日、12月20日、1月31日、2月28日、3月28日

(4) トトロのふるさと基金長期構想（2020～2030年）の検討

トラスト地の拡大や基金をとりまく環境の変化に伴い生じている様々な課題に対処するための長期構想検討ワーキンググループを起ち上げ、検討会（WG）及びアドバイザーボード（AB）の意見聴取等を3回開催した

5月31日（WG）、6月14日（AB/WG）、10月10日（WG）

(5) トトロのふるさと基金発足30周年記念誌発行

トトロのふるさと基金の運動の四半世紀に及ぶ活動記録を集大成した30年誌「トトロの森をつくる」を取りまとめ10月に出版した。

(6) 照会、相談等への対応及び活動広報等

基金の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

① 講演

8月 特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

11月 麻布大学教職課程研究室 講座

千葉大学大学院都市環境デザイン学研究室学生ヒアリング対応

12月 麻布大学教職課程研究室 オンライン講座

埼玉大学基盤教育研究センター 講座

1月 ところざわ地域の自然グループ・GFN カタクリ群落の下刈と落葉掃き

② 取材等への対応

5月（全国各種団体名鑑、公益法人協会）、6月（KADOKAWA「所沢ウォーカー」）、7月（所沢市「70周年事業」、テレビマンユニオン「遠くへ行きたい」）、9月（所沢市「所沢観光ガイドブック」、こども地域ネットワーク所沢、所沢市「ウォーキングナビ」、所沢市動画配信用動画）、11月（(株)KADOKAWA「おひとりさま専用 Walker」）、12月（NHK さいたま「首都圏ネットワーク」）、1月（るるぶ埼玉、「旅の手帖」）、2月（朝日新聞）

③ 教材等への写真等の提供

株式会社日本入試センター「カードゲームで学ぶ生物多様性」・「サピックス eco クラブ 5年」

④ 丘陵案内

11月（麻布大学教職課程研究室 丘陵案内）

1月（ところざわ地域の自然グループ）

(7) 収益事業の実施

トトロファングッズ等の企画・製作・販売や出版物の販売等を行った。

① 収益事業検討会の開催（4回・6月18日、7月29日、9月11日、1月21日）

② イベント等でのグッズ販売、外部委託販売

※新型コロナウイルス感染防止対策のためイベント等販売は中止

- ・秋期、協力者による出張販売（菩提樹田んぼの会、山口地区）があった。
- ・11月5日より狭山園への委託販売を開始した。

③ 2021年度新商品の企画、商品化

- 折りたたみエコバッグ（紺）
- 折りたたみエコバッグ（まっちゃん）
- ネックストラップ（ふろしきトトロ）

④ オンラインショップ TOTORO FUND SHOP の更新・運用を行った。

⑤ 所沢市、東村山市、東大和市の各職員、瑞穂町職員互助会向け販売をおこなった。

⑥ 夏季きょうされんカタログ販売事業においてポロシャツ（紺）を、冬季はきょうされん及び労働組合冬季カレンダー&グッズカタログにおいて、パーカー（ふろしきトトロ）紺/グレー、ポロシャツ（白）、ダイカットステッカー（そら色・さくらんぼ色・みかん色）を取扱いアイテムとした。

（8）助成金の申請

両立支援助成金（厚生労働省）、持続化給付金（経済産業省）、テレワーク緊急導入奨励金（埼玉県）、キャリアアップ助成金（厚生労働省）、雇用調整助成金（厚生労働省）、緊急雇用安定助成金（厚生労働省）の申請を行った。

以上

2020年度
埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理業務に係る事業報告書

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理者 公益財団法人 トトロのふるさと基金

(様式1)

2020年度事業報告書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

1 管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、次のような取り組みを行った。

- ① 専門家を招いたシダ植物やコウモリ、地質の観察会を行った。
- ② 各管理地での、園路や看板の修繕などに取り組んだ。
- ③ 県民の自然ふれあいの場として、来園者が安全で快適に過ごせるよう随時管理地を巡回し、事故の未然防止に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受けての休館中の情報発信の取組や感染拡大防止のための取り組みを行った。

緊急事態宣言に伴う休館期間

第1期 2020年3月4日～2020年6月2日

第2期 2021年1月8日～2021年3月21日

なお、2020年度においては、下記の事項について特に配慮した管理を行った。

表1 2020年度の新たな取り組み、充実点について

取り組み	実施内容
新型コロナ関連の取り組み	<ul style="list-style-type: none">・彩の国「新しい生活様式」安全宣言に則した開館運営。(新規)・在宅でも楽しめる電子展示サイト『おうちミュージアム』を実施。(新規)・展示方法や来訪者対応の見直し。(新規)
管理作業	<ul style="list-style-type: none">・経年劣化した解説看板の盤面3枚の掲示内容を更新。(新規)・駐車場案内看板、案内シートを設置。(新規)・センターエリアの柵や杭を161箇所修繕。
頒布物	<ul style="list-style-type: none">・野鳥ハンドブック水鳥編を作成(新規)。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ナラ枯れ防止のための対応。(新規)・カシノナガキクイムシ飛散防止対策。

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、彩の国「新しい生活様式」安全宣言を順守し施設運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う休館中にも、情報発信を行い在宅でも気軽に楽しめるインターネット上の電子展示『おうちミュージアム』などに取り組んだ。主な取り組みを表 2 にまとめた。

表 2 主な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施状況

主な取り組み	内 容
基本事項	<ul style="list-style-type: none">・ポスターや園内巡視による密集・密接の防止。・咳エチケットやマスク等の着用等をポスターやホームページにより周知。・イベント定員の縮小化。
飛沫感染リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none">・窓口や館内テーブルに透明アクリル板の設置
接触感染リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none">・手洗い啓発チラシの掲示。・出入口に消毒液を設置。・1日2回の館内消毒の実施。・出入口を常時開放。
職員の衛生対策	<ul style="list-style-type: none">・職員の出勤前の体温計測。・職員のマスク着用。・植物画講座などではシリコン手袋を装着。
展示	<ul style="list-style-type: none">・電子展示『おうちミュージアム』参加。・動画などで情報を発信。・触れる展示取りやめ。

(2) 自然観察会等の実施

表3 イベント実施状況

イベント名	内 容	参加人数	回数
【重点】 狭山丘陵自然観察会	狭山丘陵の自然への理解を深めるために、一部、専門家を招いて実施した。	61	5
【継続】 地域公共施設との連携イベント	地域の図書館や公民館とイベントを共催して行った。	50	2
【継続】 里山体験講座	昔の里山の暮らしや年中行事等の文化・習俗を体験する講座を行った。	58	4
【継続】 狭山丘陵出前センター	文化祭やお祭などに出張して狭山丘陵に関する展示を行った。	62	1
【継続】 いきふれボランティア募集・養成講座	ボランティア募集の説明会と養成講座を実施。	18	4
【継続】 基礎から学ぶ植物画講座	草花を画用紙に再現することで、植物の生態への理解を深める講座を行った。	107	13
【継続】 植物画講座中級編	基礎から学ぶ植物講座の中級編講座を行った。	174	13
【継続】 ガイドウォーク	申込なしで当日参加出来る観察会を行った。	176	18
【継続】 環境教育活動の支援	教育機関からの依頼に応じ、環境教育活動への協力や支援を行った。	2,033	28
【継続】 企業や行政との連携イベント	企業からの依頼に応じ、イベントを行った。	1,803	1

※延べ： 89回 4,542人 休館や新型コロナウイルス対策のため計12回中止

①自然観察会等のイベント実施

狭山丘陵の自然により理解を深めることを目指し、狭山丘陵自然観察会では、専門家を招いてのシダ植物やコウモリ、地質の観察会を実施した。

また、定例のイベントとして『地域公共施設との連携イベント』、『環境教育活動の支援』などを実施した。

イベント実施状況は表 3 に、主な狭山丘陵自然観察会は表 4 のとおりである。

表 4 主な狭山丘陵自然観察会 実施状況

イベント名	実施日	参加者	実施内容
シダ観察入門	6/13	7	入間市役所より講師を招き実施。
コウモリとセミの羽化観察会	7/11	13	コウモリの会より講師を招き実施。
狭山丘陵の成り立ちと地質	11/14	18	元県立所沢高校教員を講師に招き実施。

②団体利用者への自然解説ならびに環境教育支援の実施

幼稚園や保育園、小学校、中学校、大学、一般団体などの利用及び施設見学者に対し、センターエリアのガイドやレクチャーなどを行った。特に、小中学校へはワークシートを使った観察会や学校への職員派遣を行った。小中学校や大学への環境教育支援については、表 5 のとおりである。

表 5 団体利用対応受入状況

区分	幼稚園 保育園	小学校 中学校	高校 大学等	一般	合計
利用回数	21 回	17 回	7 回	48 回	93 回
利用者数	442 人	1,856 人	76 人	2,527 人	4,901 人

③インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を発揮するためインターン生を受け入れた。(表 6)

表 6 インターン生受け入れ実施状況

学校名	実施日	人数	内容
東京農業大学	9/19～10/3	5 人	イベントの補助や館内解説、展示物作成、Facebook を使った情報発信など

(3) 展示、解説について

①展示について

休館期間、利用者が在宅のままで狭山丘陵のことを楽しんで頂く事を目的に、電子展示『おうちミュージアム』に参加し、自然情報や動画、郷土食のレシピ、ならびに、いきふれ通信のバックナンバーを掲載した。

また、『脚の長い生き物展』や『植物原画』、『外来種展』などの館内展示を行った。

②館内解説の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じながら、自然情報の説明や地図の提供等を行った。詳細を表 7 にまとめた。

表 7 利用者への情報提供人数

内 容	人 数
自然情報、イベント案内、周辺案内、自然一般の相談など	1,636 人

(4) 広報活動

① 情報提供

彩の国だよりや市報、雑誌やミニコミ誌等にイベントや自然情報の提供を行った。また、FM 茶笛(コミュニティーFM)に、毎月電話出演し自然情報等の発信に努めた。

マスコミへの出演や取材協力、掲載実績等の実施状況は以下の表 8 のとおりである。

表 8-1 マスコミへの出演、取材協力

種別	番組名	回数	内 容
ラジオ	FM 茶笛(77.7MHz) とれたてラジオ	12 回	毎月第二木曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。
	FM 茶笛(77.7MHz) お出かけステーション	3 回	土曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。
テレビ	J:COM テレビ 所沢ニュース	3 回	『つながる NEWS 所沢』自然情報 イベント告知
テレビ	NHK さいたま	1 回	里山体験講座『門松リースづくり』

※延べ 出演回数:19 回

表 8-2 新聞や各種情報紙への掲載実績

冊 子	発行地域	形態	発行団体	掲載回数
西埼玉ぱど	西埼玉	冊子	株式会社西埼玉ぱど	10 回
広報ところざわ	所沢市	市報	所沢市	10 回
武州路	埼玉県	雑誌	株式会社富士フィルム	9 回
彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	3 回
おひとりさま専用 Walker	全国	雑誌	株式会社 KADOKAWA	1 回
西武鉄道パンフレット	埼玉県	パンフ	西武鉄道株式会社	1 回

※延べ 掲載回数:34 回

表 8-3 マスコミ等への情報提供

マスコミ紙	回数	内 容
西埼玉ぱど	12 回	イベント募集のお知らせ
J:COM TV 所沢	7 回	イベントの紹介
NHK さいたま	1 回	イベントの紹介

※延べ 20 回

表 8-4 イベントポスター・チラシの作成実績

ポスター・チラシ	数量	内 容
イベント告知ポスター	18 枚	イベントやボランティア募集などを周知するため、センター壁面に貼りだした。
年間観察会チラシ	3,000 枚	自然観察会を周知するために、県内外に広く配布。
いきもの写真展チラシ	1,000 枚	写真展募集と展示を告知するポスターを作成。周辺施設へ配布した。

②広報紙等の発行と配布

「いきふれ通信」を年4回計6,000部発行し、所沢市内全ての小学校と図書館、主な埼玉県内の博物館や資料館、首都圏の関連自然施設等63箇所に配布した。

③センターホームページの運営

イベントの予定や実施状況などを知っていただくため、ホームページや Facebook の運営を行った。また、システムの脆弱性の対応や安全性の確保のため、基本ソフトの定期更新や管理などに努めた。ホームページの更新回数は表 9、閲覧状況は表 10 のとおりである。

表 9 ホームページ更新

内 容	更新回数
自然情報、イベント予定・報告、ボランティア活動報告など	160 回

表 10 ホームページへの閲覧状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月 間 閲 覧 数	2,167	3,111	3,052	3,721	5,527	2,902	2,581	2,368	1,895	2,940	2,724	2,903

※累計 35,891 回

(5) 関係団体との協働

①埼玉県狭山丘陵いきふれの会

ボランティアの募集説明会や養成講座を開催し、今期新たに 6 人が加わり、全登録者は 27 人となった。センター管理地の各スポットエリアを中心に、年間を通して定期的な巡回や行事補助、自然情報の収集に協力頂いた。活動状況は表 11 のとおりである。

表 11 ボランティアとの活動実施状況

主な活動分野	実施回数	参加者	主な内容
巡回・情報収集	5 回	23 人	各スポットの巡回や自然情報の収集
行事補助	4 回	7 人	藍染め、自然観察会など
里山管理作業	1 回	8 人	イベント用のツル取り

※(全体会議、その他)5回 30人 延べ活動数:15回 延べ人数:68人

②「堅香子の会」や「ふれ炭会」との協力

- ・堅香子の会：植物画講座への講師派遣や植物画の原画借用協力を頂いた。
- ・ふれ炭会：炭焼き体験に関する学生団体の受け入れや管理地の維持管理協力、間伐材の有効利用などに協力頂いた。

③ 地域の企業や市町村、自然ふれあい施設等との連携

入間市役所やコウモリの会へ講師派遣の依頼を行った。また、西武鉄道株式会社から依頼を受け、ハイキングイベントに協力した。

狭山丘陵フェア実行委員会に参加し、都立公園やさいたま緑の森博物館等と情報交換を行った。

地元企業の連携は表 12 のとおりである。

表 12 主な地元企業や市町村、自然ふれあい施設との連携

団体名	イベント名	実施日	参加者	内 容
西武鉄道株式会社	所沢エンジョイハイキング	11/11	1,803 人	パネル展示を実施。

(6) 運営協議会の開催

センターの円滑な管理運営を推進し、施設の有効活用を図るために、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会を 11 月に開催した。3 月は新型コロナウイルス拡大防止のため、書面開催とした。

- ・協議会委員 学識経験者、地域団体及びセンターボランティア団体の代表者、地元学校長等 計 9 人
- ・協議事項 事業実施状況、自主事業へのアドバイス、管理運営の方向性等について

(7) 施設の維持管理

① 保守点検業務

施設の維持管理（夜間警備や空調設備、消防設備の保守点検、施設の清掃）については、それぞれの専門業者に委託することにより適正な管理を行った。

② 地震や火災などの対策

全職員合同の通報訓練や消火訓練、避難訓練を行った。また、緊急時の対応マニュアルを読み合わせ、机上での模擬訓練を行った。

③ 園地管理

日常的に管理地内を巡回し、定期的な草刈りや植栽木の剪定、樹木の伐採（緊急性の高い危険木）、木柵の交換、階段の修繕、解説看板の修繕などを行った。

特に利用者より改善要望が多い駐車場案内看板の新設や、解説看板の盤面更新などに取り組んだ。主な実績は表 13 のとおりである。

表 13 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	駐車場案内看板	2 基	新設
	杭と横木(木柵)	161 本	破損柵を交換。
	施設案内看板	4 基	ペンキ再塗装
	階段更新	1 段	センター玄関前
スポット3	施設案内看板	2 基	ペンキ再塗装
スポット4	啓蒙看板	3 基	各入口に新設
スポット 2、3	盤面更新	3 枚	解説看板の盤面を更新。
光蔵寺前	指道標	1 基	倒壊指道標を更新

(8) 災害時等の緊急時の対応

大型の台風接近の際は、施設玄関付近への土嚢の設置や園路上空の掛かり枝の除去などを実施した。また、緊急対応に備え、連絡網の確認やチェーンソーなどの備品の用意を行った。台風通過後は、速やかに施設と管理地を巡回し園路通行の安全確保と情報の収集に努めた。倒木などの情報は、ホームページを通じて周知を図った。

(9) その他の自主事業

① 頒布物について

狭山丘陵の自然の素晴らしさを伝えるため、「野鳥ハンドブック 水辺編」を作成した。また、「植物画ハガキ」、「植物画一筆箋」、「シダ植物ポケット図鑑」、「野鳥ハンドブック里山編」の頒布などを行った。

② 萌芽更新完了後の追跡調査

身近なみどり保全創出事業にて所沢市が実施したセンターエリアの萌芽更新地区の植生調査を8回行い、132種(草本51種、木本76種、シダ・コケ5種)を記録した。結果を管理作業の参考にするために、所沢市みどり自然課へ報告を行った。

大きな傾向として、樹の成長に伴い、好光性の木本の淘汰が始まっている。

③ ナラ枯れ防止のための取り組み

カシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」によってコナラのナラ枯れが狭山丘陵に広がりを見せている。早期に対応を図るために、各管理地内の被害調査や捕獲などに取り組んだ。特に、ナラ枯れ伐採木の切株からのカシノナガキクイムシの飛散防止のため、ビニールシートの覆いを実施した。主な実績は表14のとおりである。

表 14 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
各 管 理 地	ナラ枯れ被害木調査	6 箇所	各管理地にてナラ枯れ確認
センターエリア	ナラ枯れ伐採木へのビニール被覆	13 箇所	カシノナガキクイムシ飛散防止のため実施。
	カシノナガキクイムシ捕獲実験	3 基	飛翔時期を確認。

2 施設の利用状況

① 利用者別利用状況

区分	大人			小人(中学生以下)			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	6,139	3,731	9,870	1,708	2,198	3,906	13,776

② 施設有料利用状況（利用施設区分別）

区 分	講義室	展示室
利用件数	2 件	0 件
利用者数	18 人	0 人